

令和 8 年度

一般選抜 A 日程 (2/3)

国語

出題意図

I	吉村昭「蛍の舞い」(『海馬』)の一部を素材とした。 本問は、現代小説テキストにおける作中人物の心情の変化を読み取る能力、文学表現への理解力を問うことを意図して出題した。 特に、問一、三、八、九、一〇は上記の意図に基づいて出題した。 また、問二は語彙知識、問七は文脈から適切な表現を類推する力を問うものである。
II	萩原朔太郎「夏帽子」(『日本近代随筆選2 大地の声』 岩波書店)を素材とした。 本問は、一人称で書かれた随筆における、語り手の心情や、行動の根拠、文学的レトリックを適切にとらえる能力を問うことを意図して出題した。 また、問一は、テキストの細部を読み取る力を問う問題であり、問二は漢字知識、問三は文の呼応関係の知識、問一〇は文学的知識を問うための出題である。
III	森田亜紀『芸術の中動態—受容／制作の基層—』(萌書房)の一部を素材とした。 本問は、論理的な文章における筆者の主張や、論理展開方法を正確に把握する能力を問うことを意図して出題した。 なお、問一、問三、問五、問七は、文章を指し示す内容に対する理解度を問うものである。また、問二は漢字知識、問四は接続詞の運用能力を問うものである。 問九は、鍵語となる表現から筆者の論旨を導く能力を測るために出題した。